

# 参考 行政サービスの充実をめざして

## 北九州市の先進的な政策・充実した政策

### 環境・産業・経済

#### ● 水ビジネスの国際戦略拠点が本格的運用を開始 ～日明浄化センター新管理棟(ビジターセンター)が完成～

本市が、かねてより「水ビジネスの国際戦略拠点」として整備してきた日明浄化センター新管理棟(ビジターセンター)が平成27年4月に完成し運用を開始しました。今後は、隣接する「ウォータープラザ」「下水汚泥燃料化施設」(平成27年9月完成予定)などの施設と併せて一体的に運用し、更なる利用促進を図ります。

今回、老朽化が進んだ日明浄化センター管理棟の耐震性能向上による建替えに併せ、下水道に関する展示や地元企業の技術・製品の展示などのフロアを新たに設けたもので、研修や環境教育、海外水ビジネスの推進などに積極的に活用しています。



#### ● ロボット導入による競争力強化

市内の中小企業の生産性向上を図るため、産業用ロボットの導入並びに活用支援を総合的に行い、ものづくりの街の競争力・技術力の強化を図るため、「産業用ロボット導入支援センター」を開設しました。

また、「北九州市産業用ロボット導入支援補助金」により、市内の中小企業が、実際に導入する際に要する経費の一部を支援しています。



#### ● リノベーションまちづくりの推進

本市は、小倉魚町を中心に遊休不動産をリノベーションの手法で再生し新たな産業の集積を図り、新たな雇用とにぎわいを生むリノベーションまちづくりを官民が連携し進めております。これまでにこの取組みの核であるリノベーションスクールを8回開催し、平成27年4月までに15件の物件が再生され、385人の雇用が創出されました。

今後は、小倉北区での取組みをより一層推進させるとともに、市内他地区で展開していくこととしています。

### 安全・安心

#### ● 消防体制を強化

近年、発生が危惧されている南海トラフ巨大地震等への対策強化など、あらゆる災害に迅速に対応できる通信網として、消防・救急無線のデジタル化及び新消防指令システムを更新し、平成27年4月から運用を開始しています。

また、併せて、市内に配置している救助隊7隊のうち、特別高度救助隊(ハイパレスキュー)を1隊から東西2隊体制に編成し、救助体制の強化を図っています。

そのほか、本市の離島及び周辺海域における船舶火災や救急、救助など多岐にわたる消防活動を迅速に行うため、平成27年3月に新消防艇「ひまわり」を導入しました。



#### ● 防災協定を締結

本市では、災害に強いまちづくりを目指し、平成27年3月に次の8者と新たに防災協定を締結しました。

##### ■(株)ゼンリン：「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」

災害対応用の住宅地図・広域図の貸与、災害時における地図の複製許諾など

##### ■オーシャントランス(株)、阪九フェリー(株)、松山・小倉フェリー(株)、(株)名門大洋フェリー：「災害時における船舶での輸送等の協力に関する協定」

災害時に必要な食糧、緊急物資、復旧に要する資機材等をフェリーで海上輸送するなど

##### ■公立大学法人北九州市立大学：「公立大学法人北九州市立大学と北九州市との防災に関する協定」

地域防災力の向上のため、防災に関する人材育成や学術研究等で相互に協力するなど

##### ■北九州LPガス事業協働組合、福岡県北九州地区LPガス協会：「災害時におけるLPガス等の供給に関する協定」

災害時に避難所等へLPガス及び機材等を優先的に供給するなど

## ● 防災ガイドブックの作成

これまでの「防災情報マップ」の改訂として、災害時に自ら命を守るための判断や行動を適切に行うために、防災に関する知識やハザードマップを大幅に拡充した「北九州市防災ガイドブック」を作成しました。

市内全ての世帯・事業所に配布するとともに、土砂災害を想定した災害図上訓練（DIG）や出前講演のテキストとして活用します。

## 福祉・子育て・教育

### ● 総合的な認知症対策

本市における認知症対策事業の推進計画として、「北九州市認知症施策推進計画（北九州市オレンジプラン）」を平成 27 年 3 月に策定しました。認知症について正しい理解を広め、認知症の人やその家族をはじめ、全ての市民にとって暮らしやすい都市となるように、「市民一人ひとりが、認知症を正しく理解し、誰もが安心して暮らせる『みんなで支えあうまち』」を目指し、認知症予防の充実・強化、認知症高齢者の地域での生活を支える医療・介護体制の構築や日常生活・家族支援の強化、若年性認知症対策の強化などを推進していきます。

### ● 保育士・保育所支援センターを開設

待機児童対策の一環として、質の高い保育士を安定的に確保する等の観点から、「保育士・保育所支援センター」を設置し、保育士の資格を持っているが、保育士として就労していない「潜在保育士」の保育所への就職等を支援します。

### ● 「子どもひまわり学習塾」事業

本市は、児童生徒が主体的な学習の仕方を身に付け、基礎的・基本的な学力の定着を図るため、学校の希望を募り小学校 3 年生から 6 年生及び中学校 3 年生を対象に、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を実施しています。平成 27 年度は、小学校は 31 校→70 校、中学校は 11 校→62 校（全校）へ拡充して実施しています。



## 観光・文化・スポーツ

### ● 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産登録

平成 27 年 7 月、本市の官営八幡製鐵所関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」がユネスコ世界文化遺産に登録されました。

今後は、世界遺産企画展の開催や日本事務所眺望スペースの運営などを含む理解増進や保全に関する取組みを進めていきます。



写真提供：新日鐵住金（株）八幡製鐵所（非公開施設）

### ● 北九州スタジアム整備に向けた取組み

本市は平成 29 年 3 月北九州スタジアム完成に向けて、スタジアムへの市民参画を促し、ランドマーク施設として市民に愛されるスタジアムにするため、スタジアム寄付金を募集しています。

また、スタジアムが地域における新たなにぎわいの創出につながることを目的に、平成 27 年 4 月、「北九州スタジアム応援団」を設立し、イベントの企画や関係イベントへの参加などの活動を行っています。

## 北九州市の最近の受賞歴等

### ● 『東京ドラマアワード 2014』特別賞を受賞

北九州フィルム・コミッションは、日本ドラマの海外発信を目的とした国内初の国際的なドラマ祭である「国際ドラマフェスティバル in TOKYO」のメインイベントとして開催された「東京ドラマアワード 2014」において、「MOZU Season 1」での大規模ロケ協力が評価され『特別賞』を受賞しました。

### ● フィリピン・セブ市長特別賞を受賞

フィリピン・セブ市に対する環境の国際貢献が高く評価され、セブ市長特別賞（Mayor's Special Award）を受賞しました。



### ● 「次世代育成環境ランキング」政令指定都市第 1 位（4 年連続）

「NPO 法人エガリテ大手前」主催の第 10 回「次世代育成環境ランキング」において、本市の出産環境やトワイライトステイ（児童養護施設における夜間の養育）や小児医療（平日夜間・土日祝日診療）の充実などが評価され、平成 26 年度は政令指定都市第 1 位を獲得しました。（平成 17～21 年度、23～25 年度も第 1 位、平成 22 年度は第 2 位）